

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病の発生が増加する前に対策を!



この症状はどんな病気? ~白さび病~

【白さび病(*Puccinia horiana*)】

葉に直径1mmの乳白色の小点が形成され、黄色味を帯びながら2~5mm程度まで大きくなり、**葉裏に淡黄色~淡褐色、イボ状の隆起**が生じる(冬胞子堆)。**葉表面の病斑は円形、淡黄緑色~黄色**。乳白色の小点から冬胞子堆の形成までは、適温下(15~23℃)で数日。

冬			春			夏			秋		
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月



時期	IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P2	白さび病	inochioキクツチャ粒剤	○	—	6~9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	ジマンダイセンフロアブル	○	—	500~800倍	—	8回
	34	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	—	—	2,000倍	発生初期	2回
消灯時	21A, 39	アブラムシ類・アザミウマ類 ハモグリバエ類・白さび病	ハチハチ乳剤	○	—	1,000倍	発生・発病 初期	4回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochio セイレーンフロアブル	—	—	2,000倍	発生初期	3回
発蕾時	7	白さび病	カナメフロアブル	○	○	4,000~8,000倍	発病初期	3回
	5	アザミウマ類・ハモグリバエ類 オオタバコガ	スピノエース顆粒水和剤	—	—	5,000倍 (オオタバコガ:2,500~ 5,000倍)	発生初期	2回
破蕾期	19	白さび病	ポリオキシシンAL水溶剤	○	○	2,500倍	発病初期	8回
	20B	ハダニ類	カネマイトフロアブル	—	—	1,000~1,500倍	—	1回



地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては被害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

カテキンパワーUP

「カテキンパワー」がリニューアル!!

成分などの見直しで、
溶けやすさ・使いやすさがUP!!

成分: カテキン類 内容量: 1リットル
野菜類使用例 500倍 葉面散布 樹勢回復



● 高温対策専用 バイオスティミュラント

炎天マスター



高温ストレスに遭遇する前に処理すると…
→ **高温耐性のスイッチON!**

- ◎ HSF遺伝子の発現量増加
(高温に備える指令を伝える遺伝子)
- ◎ 活性酸素種(ROS)の除去
(ストレスを感じると増加し植物を傷つける物質)

500~1,000倍 7~14日間隔 葉面散布

